

LAN・CAFÉ

だより



July, 2024

2024年7月号

豊橋語学教育研究室

☆ドイツ語特集☆

『ランカフェだより』7月号をおおくりします。ドイツ語のランゲージ・カフェは残念ながら開催されていませんが、その代わりに、今回は「ドイツ語特集」を組みました。1年生のドイツ語の授業を担当されている山村先生、バートロメー先生、アイカマン先生に原稿を寄せていただきました。バートロメー先生、アイカマン先生は、ドイツ語と日本語の両方の言語で自己紹介を書いてくださいました。ドイツ語の文章は、1年生の皆さんにはまだちょっと難しいかもしれませんが（秋学期に習う文法がけっこう使われています）、どれくらい読めるか、辞書を片手に挑戦してみてください。山村先生は昨夏のベルリン滞在について貴重な体験談を寄せてくださいました。読んでみると、実際にドイツの首都ベルリンの街を歩いているような、また過去のベルリンにタイムスリップしたような感覚にとらわれます。

豊橋ランゲージセンターには多くのドイツ語のDVD、ブルーレイが所蔵されています。その紹介文も載せておきましたので、時間があるときにでも、面白い映画やドラマがないか、のぞきにきてください。

セバスティアン・バートロメー先生

Hallo! Ich bin Sebastian und komme aus Deutschland. Meine Heimat ist die schöne Stadt Heidelberg. Viele Japaner, die nach Europa reisen, besichtigen das romantische Heidelberger Schloss und die älteste Universität Deutschlands. Eine Reise entlang der sogenannten Romantischen Straße über Rothenburg, Neuschwanstein und München bis nach Salzburg und Wien in Österreich kann ich wirklich empfehlen. Es gibt viele alte Städte, schöne Schlösser, gutes Essen und interessante Kultur zu erleben.

In letzter Zeit reisen auch viele Deutsche nach Japan. Manga, Anime und japanische Popkultur, aber auch traditionelle japanische Kultur wie Teezeremonie, Bonsai, Koi und Kampfkunst sind bei Touristen aus Europa sehr beliebt.

Ich lebe seit etwa zwanzig Jahren in Japan und habe schon viele schöne Orte besucht. Besonders gut gefallen mir die Berge in Japan, denn mein Hobby ist Wandern. Die traditionelle japanische Gartenkunst finde ich auch wunderbar. Und ich liebe Wagashi! Japan und Deutschland haben trotz der großen

Entfernung viele Gemeinsamkeiten, zum Beispiel Geschichte, humanitäre Werte, Autoindustrie.

Deutsch zu lernen ist nicht immer einfach, aber mit genügend Motivation kann man es schaffen. Ich kenne viele Japaner, die sehr gut Deutsch sprechen. Sie können mich jederzeit fragen wenn Sie Informationen oder Tipps brauchen, auch auf Japanisch.



ハロー！ドイツ出身のセバスティアンです。美しいハイデルベルク市は私の故郷です。

ヨーロッパ旅行する多くの日本人はハイデルベルク城やドイツの最も古い大学であるハイデルベルク大学を訪れます。いわゆるロマンチック街道に沿ってローテンブルク、ノイシュバンシュタイン城、ミュンヘン、オーストリアのザルツブルクやウィーンまでの観光ツアーは大変お勧めです。沢山の古い街、美しいお城、美味しい食べ物や興味深い文化を体験できます。

近年は沢山のドイツ人も日本を訪れています。漫画・アニメ・日本式ポップカルチャー、または茶道・盆栽・鯉・日本

武道のような伝統的な日本の文化はヨーロッパ観光客に大人気です。

私は20年前から日本に住んでいて、数多くの綺麗な場所を見てきました。趣味はハイキングで、日本の山は特に気に入りました。日本の伝統的な園芸も素晴らしいと思います。そして、和菓子は大好きです！日本とドイツの地理的な距離にもかかわらず、共通点は数々あります：例えば歴史、人道的な価値観、自動車産業など。

ドイツ語を学ぶときは苦勞することもあるかもしれませんが、十分なモチベーションがあれば成功しますよ。とても上手にドイツ語を喋る日本人は沢山います。様々な情報かアドバイスが必要であれば、お気軽に聞いてください。

マーセル・アイカマン先生

Liebe Studentinnen und Studenten,

ich freue mich sehr Sie kennenzulernen. Oder vielleicht kennen wir uns auch schon aus dem Unterricht am Dienstag.

Mein Name ist Marcel Eikermann und ich komme aus dem Ruhrgebiet in Deutschland. Das Ruhrgebiet liegt im Westen von Deutschland, im Bundesland Nordrhein-Westfalen. Dort gibt es zum Beispiel die Städte Dortmund, Bochum oder Essen. Vielleicht haben Sie davon schon einmal etwas gehört. Im Ruhrgebiet wohnen Menschen aus sehr vielen verschiedenen Ländern zusammen und man kann viele verschiedene Kulturen kennenlernen. Wenn Sie mal nach Deutschland gehen, dann schauen Sie dort doch einmal vorbei.

Jetzt lebe ich aber seit 2011 in Gifu, zusammen mit meiner Frau und unserem kleinen Hund. Ich und meine Frau schauen gerne Animes, lesen gerne Mangas und spielen gerne Videospiele. Auch, wenn ich nun schon fast 40 Jahre alt bin, möchte ich meine Hobbys pflegen und jeden Tag ausüben. Haben Sie auch einen Lieblingsmanga oder ein Lieblingsvideospiele? Erzählen Sie mir doch gerne auf Deutsch davon. Ich würde mich freuen.

In Japan mag ich das Cafe Komeda sehr gerne. Es ist mein Lieblingsrestaurant und ich gehe dort jede Woche hin. Auch in Deutschland gibt es leckeren Kaffee oder Kuchen. Haben Sie schon einmal in einer deutschen Bäckerei eingekauft? Wenn nicht, dann müssen Sie dort unbedingt einmal Brötchen oder Kuchen kaufen. Das empfehle ich Ihnen sehr.

Ich hoffe, dass wir im Unterricht gut zusammen Deutsch lernen können und uns auch auf Deutsch über unsere Hobbys unterhalten können. Darüber würde ich mich sehr freuen!

Marcel Eikermann

みなさん、こんにちは、

はじめまして。もしかしたら授業でもうあったかもしれません。

私の名前はマーセル・アイカマンです。ドイツのルール地方から来ています。ルール地方はドイツの西の方にある地方です。ノルトライン＝ヴェストファーレン州にあります。そこに、ドルトムント、ボーフムやエッセンという街があります。聞いたことがあるのでしょうか。ルール地方にいろんな国の人と一緒に暮らして、生活しています。なので、いろんな国の文化について勉強することができます。もし、ドイツに行くことがありましたら、ぜひ一度行ってみてください。2011年から、奥さんと小さい犬と一緒に岐阜で生活しています。私たちはアニメや漫画が好きで、毎日一緒にビデオゲームをしています。もうアラフォーですが、趣味を諦めたくなくて、毎日楽しんでます。好きな漫画やゲームがありますか。ぜひドイツ語で紹介してください。



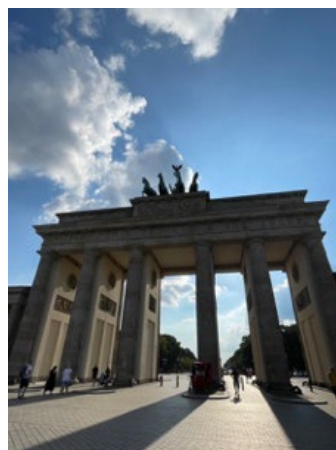
日本といえば、コメダ珈琲店が大好きです。私の一番好きなレストランで、毎週必ず行きます。ドイツでも美味しいケーキやコーヒーがあります。ドイツのパン屋さんに行ったことがありますか。もしまだでしたら、必ず行ってみてください。

ドイツのパンやケーキはとても美味しいです。おすすめします。

授業では、一緒にドイツ語を学んで、そして趣味について話しましょう。楽しみにしています。

昨年の8月、ゲーテ・インスティトゥート¹主催の夏季ドイツ語教員研修プログラムに参加するためベルリンへ向かった。2週間ほどのベルリン滞在中で、筆者が体験したことを紹介したい。主な読者は学生さんということなので、研修の専門的な内容ではなく、住んでいた街や、出会った人たちについて書こうと思う。人との何気ない会話やつながりの中で、思わぬ方向に事が進むことがある。それは一歩外に出なければ見えない世界であった。以下一人称は「私」とする。

ベルリン研修で出会ったひとたち



教員研修には世界中からドイツ語を教えている人たちが集まった。ほぼ全ての大陸からと言ってよいだろう。文化、言語、宗教の異なる、さまざまな背景を持つ人たちが

まとまるのは簡単なことではない。互いに話し合っ、私たちは少しずつ打ち解けていった。個性の強い人たちをまとめるコーディネーター(私たちの先生)は大変だったと思うけれど、その姿勢から学ぶことは多かった。研修プログラムの内容について少しだけ言及すると、各々の授業で起こっている問題を互いに共有して解決策を議論し、様々な教授法(特に Chat GPT などの AI 導入教育)を体験し、実際の授業の中で、どう活かせるのか模索した。扱うテーマは LGBT・多様性・移民問題・気候変動など、現在の社会を反映する内容であった。教室内での研修も充実していたが、やはりフィールドワークこそ、ベルリンにきた甲斐のあるプログラムだった。現地調査や、インタビューによって、ベルリンの壁にまつわる歴史について理解を深めた。机上の理論やネットの情報だけでは得られない、実際に来なければわからないことや感じられないことがあるということ、痛感した。ここに書ききれない濃厚な研修は休む間もなくあっという間に終わりを迎えた。メンバーの中にはウクライナからの参加者もいた。空港は閉鎖されているから、バスで何日もかけて来たという。「国の情勢によって、私の人生を諦めない」と彼女は言った。自分の意に反して、国の事情によって制約を受ける、教育環境が不安定だという人は彼女だけではなかった。それぞれが置かれた環境の中で、ドイツ語を教えている。折りに触れて、彼女たちの姿が頭に浮かぶのだ。

¹Goethe-Institut はドイツ連邦共和国が設立した公的な文化交流機関(非営利組織)である。インスティトゥート日本 H P 参照。

住んでいた街とマイスター夫妻との語らいの中で



シェーネベルク地区 (Schöneberg) に住む夫妻の家に下宿した。二人の息子がいるが、もう大人で家を出ていた。その一室を提供してくれたのだ。特に都市部では珍しくないことで、空き部屋を貸すという人たちは少なくない。家賃収入を得るためのビジネスとして割り切っている人もいるので、プライベートな関わりは皆無という場合も多いのだが、夫妻にとって私が初めてのゲストということもあったのか、話をする機会に恵まれた。幸運なことに、Gastgeber (主人) はパン職人で、ほぼ毎日焼きたてのパンを食べることができた(しかもタダで!)。ゲーテ・インスティテュートが繋いでくれたご縁だった。シェーネベルク地区はベルリン中心市街地の南部に広がり、比較的緑の多い落ち着いた街である。ノンドルフ広場ときいて、ケストナーの『エミールと探偵たち』を思い出す読者もおられるだろう。その広場の周辺を歩いていると、虹色の旗が掲げられたアパートやバーをよく見かける。多様性を表すこの旗は LGBT の象徴として今では広く知られているが、この界限は古くからベルリンのゲイコミュニティの中心として知られている。イギリスロックミュージシャンのデヴィッド・ボウイも若かりし頃、この街に住んでいた。Netflix ドラマの「アンオーソドックス」(2020)の舞台にもなっている。この映画の説明は控えるが、ぜひご覧になってほしい。

またシェーネベルク市庁舎は J・F ケネディが 1963 年に“Ich bin ein Berliner” で有名な歴史的演説をした場所としても知られる。壁の建設後、西ベルリンに最初にやってきたアメリカ大統領の演説は、不安な状況の中にあつた西ベルリンの人々にとって、心強い出来事であつたと、当時を知る主人の言葉が印象に残る。夫妻はベルリンが壁で分断されていた頃のことや経験したことを話してくれた。私がベルリンの歴史を学ぶために研修地としてここを選んだのを知ってのことだろう。その話の中で、オラーニエンブルク (Oranienburg) のザクセンハウゼン強制収容所跡 (Gedenkstätte und Museum Sachsenhausen) を訪れるべきだと助言してくれた。ベルリン中心地にあるフリードリヒ通り駅から S バーンに乗って 45 分もすれば終点のオラーニエンブルク駅に到着する。そこから歩いて(バスもある) 20 分程の場所に収容所跡がある。ゲーテの教員研修は期間中にプログラムがしっかり組まれて

おり、そこに行くにはどこかで研修を休まなければならない。奨学金をもらって参加させてもらっている立場上、躊躇していたのだが、コーディネーターに自分の気持ちを伝え、一人向かうことにした。予想外にも、励ましの言葉と共に、そこで何を見て感じたのかを研修の中で伝えて欲しいという返事もらった。

収容所跡といっても、一部は当時の状態で残っているバラックが存在する。ここでSSの組織的な虐殺などで数万人の命が奪われた。戦後はソ連の特設収容所となり、さらに命を落とさなければならぬ人たちがいた。その場に立ってきちんと感じておく場所だと思う。雲ひとつない青い空が、よけいにこの事実の悲惨さを浮き彫りにした。ベルリンの街を歩いていると、路面に埋め込まれた金色のプレートが目にとまることもある。「つまづきの石」というプロジェクトで、そこに住んでいたユダヤ人の名前、強制収容所で亡くなった年などを刻んだ石を一つずつ埋め込んでいったものである(反体制活動家や同性愛者など、ナチス政権の犠牲者も含まれる)。意識的に街を歩いて眺めていると負の歴史を忘却させまいとする存在の多さに驚くことだろう。ベルリンは決して歴史的に暗く重くだけの町ではない。その暗闇に光を取り戻そうとしているかの如く、様々な価値観や人種が交じり合った自由と活気に満ちた町でもある。今の時代だからこそ、ベルリンを歩いて欲しいと思う。

ベルリンの街角から



左: ベルリンを代表する書店 Dussmann。このコーナーは全て”Manga”である。別コーナーでは俳句の書物も目立った。

中央: 電動キックボードが街のあちこちに見られるが、かなりのスピードで走っているので要注意。

右: 使われなくなった電話ボックスの本屋さん。読まなくなった本を入れて、自由に持ち帰ることができる。ボックス横にある動物のエサが微笑ましい。

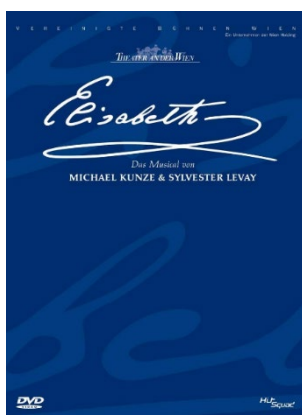
ドイツでプリンセスといえば…

文学部 河合まゆみ



みなさんにとってプリンセスといえば、おそらくディズニー・プリンセスになるのでしょうか。ドイツでもディズニー映画は人気がありますが、ドイツ人にとってプリンセスといえば「プリンセス・シシィ」のことなのです。シシィというのは、オーストリア＝ハンガリー帝国の皇妃エリザベート（ドイツ語読みではエリーザベト）の愛称です。彼女はハプスブルク家史上最も美しい皇妃といわれています。ドイツでは毎年クリスマスイブ（エリザベートの誕生日です）から三夜連続でシシィの三部作映画が放映されます。ロミー・シュナイダー演じるエリザベートは、美しいだけでなく、若く澁刺として、カール・ハインツ・ベーム演じる若き皇帝フランツ・ヨーゼフを一目で虜にします。新しい映画化では『エリザベート 1878』があります。原題はフランス語で「コルセット」です。その理由は映画を見るとわかります。

さて歴史上の人物エリザベートについてです。バイエルン王家の分家に当たるマクシミリアン公爵家に生まれ、自然に恵まれた環境でのびのびと育ったエリザベートは、15歳の時、姉ヘレーネとオーストリア皇帝フランツ・ヨーゼフとの見合いについて行ったところ、若き皇帝は初々しく愛らしいエリザベートのほうに一目惚れして、彼女を花嫁に選びます。1854年、エリザベートは16歳でウィーンの皇帝のもとに嫁ぎますが、バイエルンの自然の中で自由気ままな少女時代を過ごした彼女は、ウィーンでの宮廷生活、ハプスブルク家の堅苦しい伝統としきたりに馴染むことができませんでした。とくに彼女を苦しめたのが、姑にあたる皇帝の母、大公妃ゾフィーの存在でした。エリザベートは心身ともに疲れ果て、しだいにウィーンを離れて暮らすようになります。とくに1889年、一人息子で唯一の皇位継承者であったルドルフ皇太子が心中事件で亡くなってからは、エリザベートは生涯喪服を脱ぐことはなく、ますます人目を避け、旅に暮らすようになりました。1898年、エリザベートはスイスを旅行中に暗殺され、60歳の生涯を閉じました。



ところで最近ではミュージカル『エリザベート』も人気ですね。このウィーン発のミュージカルはドイツ語ミュージカルとしては史上最大のヒット作となり、宝塚歌劇団では1996年から、東宝版は2000年から上演されています。ミュージカルのストーリーはフィクションの部分も大きいですが、「死」という架空の存在と悲劇の皇妃エリザベートとのラブロマンスに仕上げられており、見ごたえ十分です。ランゲージセンターには紹介した作品すべて DVD、ブルーレイでそろっていますので、ぜひ鑑賞してください。















ランゲージセンターには紹介した作品すべて DVD、ブルーレイでそろっていますので、ぜひ鑑賞してください。

2024年 7月

LANGUAGE・CAFÉプログラム

EC (English Café) : 3時限目

CF (Café Français) : 5時限目

日	月	火	水	木	金	土
	7/1	2	3 EC	4	5	6
	Student Led Seminars  Peter Lyons	 DUBERT Davy	Student Led Seminars  Angela Wolf		Student Led Seminars  Ashley Bartholomy	
7	8	9 CF	10 EC	11	12 EC	13
	Student Led Seminars  Peter Lyons	 DUBERT Davy	Student Led Seminars  Angela Wolf		Student Led Seminars  Ashley Bartholomy	
14	15 EC	16 CF	17 EC	18	19 EC	20
	Student Led Seminars  Peter Lyons	 DUBERT Davy	Reflection and Review  Angela Wolf		Student Led Seminars  Ashley Bartholomy	
21	22 EC	23 EC	24	25	26	27
	Reflection and Review  Peter Lyons	Reflection and Review  Ashley Bartholomy				
28	29	30	31			

Language Café 昼休みの部: English Café : 月・火・水・金
Café Français : 月・金
Global Café : 火(at723教室)

※プログラムは変更することがあります。

LAN-CAFÉ だより 2024年7月号(第49号)

WEB版URL :

<http://taweb.aichi-u.ac.jp/tgoken/kikanshi.html>

2024年6月25日発行

発行: 愛知大学豊橋語学教育研究室

〒441-8522豊橋市町畑町1-1

TEL : (0532) 47-4170

URL : <http://taweb.aichi-u.ac.jp/tgoken>